

第2回大橋道場へのおきそい

拝啓 爽秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、NPO 法人ものづくり生命文明機構 ハイパーソニック生命文明協議会は、この秋、大橋 力理事（国際科学振興財団主席研究員）の学術・芸術・技術を超えた叡智に学ぶ「大橋道場」をスタートさせました。

第1回「大橋道場パースペクティブ ～生命科学が拓く新しい文明＝生命文明の展望～」は、去る9月26日、星槎湘南大磯キャンパスにて、予定していた教室にあふれる90名以上の皆さまを迎え、急遽、別の教室にビデオサテライトを設ける盛況のもと盛大に幕を開けました。中井徳太郎塾頭（財務省理財局計画官）のご挨拶と、3人の師範代による前座に続いて、大橋師範による講演「生命文明への道」が行われました。その冒頭、京都から駆けつけてくださった安田喜憲先生（国際日本文化研究センター教授、ものづくり生命文明機構副理事長）との連名で、次のような「生命文明科学創設宣言」がなされました。

〈生命文明科学創設宣言〉

近現代物質文明の限界を克服し危機を好機に転じつつ生命文明の実現を図る「決め手」として、〈生命文明科学〉を創設する。

〈文明の環境史観〉と〈情報環境学〉とを源流とし、現代生命科学を知的プラットフォームとしつつ、あらゆる自然・社会・人文諸科学を自在に包摂しうる学術体制と、同様の芸術・技術体制とを混然一体に融合して、有効、適切、快適に新しい文明の地平を拓いていくことを宣言する。

2009年9月26日 大橋 力・安田喜憲

次いで、〈生命文明科学〉の切れ味と有効性を示す典型例として、「年縞」というゆるぎない物証を基盤として築かれた安田先生の〈稲作漁撈文明〉研究と、従来の人文・社会科学的「文明論」を判然簡潔化し「文明批判・文明設計」の科学技術化を可能にした大橋師範ご自身の〈文明モデル〉が紹介されました。

そして、〈生命文明科学〉構築のための基礎工事として、「生命を生命たらしめるソフトウェア〈情報〉」と「地球生命を地球生命たらしめるハードウェア〈分子〉」について、ご参加くださった甘利俊一先生（理化学研究所脳科学総合研究センター特別顧問）の名著『情報理論』を引用しつつ、〈情報〉と〈生命〉との関係を鮮やかに描き出し、〈生命文明科学〉の使命と広大な展望を垣間見せてくださいました。

後半になって講演はいよいよ佳境に入り、まず、〈生命文明科学〉には単機能に細分化した専門能力ではなく全方位に開かれた脳の活性が求められることが明らかにされました。さらに全方位非限定非分化型活性を身につけるためには、脳科学の先端的知見に裏付けられた合理的な新しい方法論のもと、夢をもって快適に学べば道が開けることなど、大橋師範ご自身を実験台とした「ひとつづくり」「群れづくり」の実績にもとづく極意を伝授してくださいました。

これを聴講した中井塾頭は、「2009年9月26日大磯は、生命文明科学が創設された、地球・人類史上の画期として刻まれることでしょう。いよいよ農耕革命、近代の科学革命・産業革命につぐ、新たな“生命文明科学革命”の時代に入ったといえましょう」とその衝撃を表現されています。このように、新しい時代の幕開けを強く予感させる知的興奮と感動が会場を包み込み、懇親会の席はもとより帰途のバスや電車の中でも、あちこちで熱い議論や名刺交換が尽きませんでした。

さて、こうした盛り上がりを受けて、第2回大橋道場を来る12月5日(土)午後2時から東京大学駒場キャンパスにて、「利他的遺伝子の優越 ～有限環境の生存戦略～」というテーマで開催いたします。詳細は別紙の要項をご覧ください。大橋師範が振るう〈生命文明科学〉の刃が、各方面で急速に注目を集めつつあるキーコンセプト「利他性」そしてその根底をなす「プログラムされた自己解体」をどう料理するか、その切れ味をご自身の目で確かめるまたとない機会です。お誘い合わせの上、奮ってお運びくださいますようご案内申し上げます。

敬具

平成21年10月吉日

NPO法人 ものづくり生命文明機構
ハイパーソニック生命文明協議会
大橋道場幹事
本田 学
(国立精神・神経センター
神経研究所疾病研究第七部長)

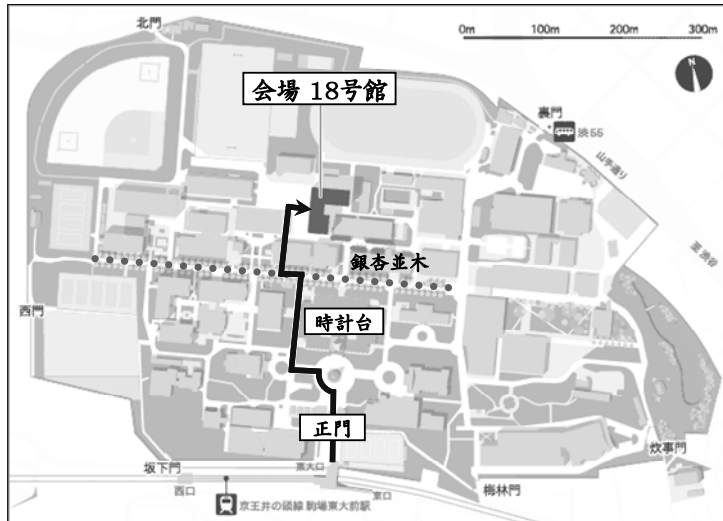
第2回 大橋道場のご案内

◆テーマ：「利他的遺伝子の優越 ～有限環境の生存戦略～」

◆講師： 大橋 力 先生 (国際科学振興財団主席研究員)

◆日時： 2009年12月5日(土) 13:30 受付開始
14:00～17:00 大橋道場 (休憩をはさみます)
17:00～19:00 懇親会

◆会場： 東京大学 駒場キャンパス 18号館ホール



〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
京王井の頭線「駒場東大前」下車

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_02_j.html (アクセスマップ)

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_17_j.html (キャンパスマップ)

◆参加費：3,000円 (懇親会費含む。当日受付にてお支払いください。学割あり)

◆主催： NPO 法人ものづくり生命文明機構 ハイパーソニック生命文明協議会

◆共催： 文明科学研究所、NPO 法人健康医療開発機構

*11月20日(金)までに添付のFAX返信用紙またはE-mail (doujou@dcfd-ncnp.net)にて、ハイパーソニック生命文明協議会事務局までご返事を頂戴できれば幸いです。

*今回から学生にも広く門戸を開く予定です。席に限りがありますので、参加者多数の場合は予定より早くお申し込みを締め切らせていただく場合がございます。ご了承ください。

————— 大橋道場 全7回のテーマ (今後の予定含む) —————

- 第1回 大橋道場パースペクティブ ～生命科学が拓く新しい文明＝生命文明の展望～ (終了)
- 第2回 利他的遺伝子の優越 ～有限環境の生存戦略～ (今回)
- 第3回 適応から本来へ ～逆ビジョンの生命科学～
- 第4回 欲望という脳機能の組換え ～快不快の神経回路を再構築して地球社会を救う～
- 第5回 ハイパーソニック・エフェクト入門
- 第6回 ハイパーソニック・エフェクトを活かすものづくり
- 第7回 脳と文明の科学 ～物質文明から生命文明へ～

FAX 送信先：042-346-1748

E-mail 送信先：doujou@dcfd-ncnp.net

ハイパーソニック生命文明協議会事務局 宛

「第2回 大橋道場」ご出欠返信用紙

ご多忙のところ恐縮でございますが、11月20日（金）までにご都合をご返信くださいますようお願い申し上げます。

道場 ご出席 ・ ご欠席
懇親会 ご出席 ・ ご欠席

(参加費 3,000 円は当日受付にてお支払ください)

ご芳名

ご所属・お肩書

今後のご連絡方法（もし変更のご希望がございましたら）

ご住所 〒 _____

お電話番号 _____

FAX番号 _____

メールアドレス _____

ご同伴者様（ご芳名／ご所属・お肩書き）

<メッセージ>